

☆作業日あれこれ

3月の定例作業日は、前日3/11に発生した東日本大震災のことで皆の頭の中は一杯、春の陽射しを素直に楽しもうというにはほど遠い気持ちでした。自宅で震災情報のテレビに釘付けになっている方が多かったのか、花粉症で出てこられなかったのか、それとも遊林会の活動に魅力がなくなってきたのか、当日の参加者は作業日に関わらず30人といつもより少なめです。



キッシーお疲れ様でした

観察会は急遽内容を変更したようで、担当の盆栽お宅は「稲叢(けむり：刈り取った稲束を積み上げた物)の火」を知っていますかと始めました。戦前から戦後1947年まで国定教科書に記載されていた話ですので、々が小国民(戦前、銃後を守る子どもの意味で使用された言葉)時代を過ごされた炭焼名人に目をやると、顔の前で手を横に振りながら知らんでえーという表情ですが、顔が笑っています。安政南海地震津波の際に紀州有田の庄屋・濱口儀兵衛(ヤサ醤油の基礎を固めた人物)が、高台の自宅から津波の襲来を予見し稲叢に火を点け暗闇の中を避難する村人を高台に誘導した話です。盆栽お宅は教科書の文章を読み上げ、一同、義兵衛の故事を改めて確認したわけですが、徐々にわかりつつある三陸海岸などの未曾有の被害の前に重苦しさが漂うばかりでした。なお義兵衛はその後、私財を投じて村を守る巨大な堤防を築き、その後の津波から村を守ったそうです。その後はいつもの自然観察会に戻り、蕾がふくらみ始めたキザキイグサの群落の前で、スプリング・エフェラル(春のはかなき命、別名、春の妖精：春植物)についてや、この森で発見された時のことを振られて話しました。毎年3月中旬に咲くので数日の内に咲くのですが、こうして自然の移ろいを楽しめるありがたさに申し訳ない気持ちにもなってしまう大震災翌日の観察会でした。

この日の作業メニューは7種もありましたが、参加人数が少なかったため2種を削り、5種類の作業を実施しました。まずはこの時期恒例のシタケ菌打ちです。今年は萌芽更新作業により20本の

高木を伐採したので、材木に適した枝がそこそこ発生しました。このうち適度な太さのものを90本選んで地元提供させていただき、過ぎる物や細い物は森に残しました。今回はこうした材木に菌を打ちました。太い材木は取り扱いも一苦労ですが、木づちで菌打ちする作業は子どもたちも得意なので、たくさん打ち込んでくれました。

草原広場ではキッシーがリーダーになってタラノギを伐採(!)、リヤカーを引いて集めています。樹木の伐採をした後、最初に生えてくる植



「森を育てる」活動スタート!

物の代表であるタラノギは春の山菜の代表でもあります。タラノギを求めて侵入する不届き者も多く、森を荒らす一因ともなります。マル曰く「植生的には残す価値がありませんので刈って不法侵入者対策とします!」とのことでこの作業となりました。タラノギは刺がすごいので革の手袋が必需品です。

作業小屋の前では冬の間積雪対策で外しておいたテント生地の下地の設置作業が行われていました。こちらは職人達の仕事、炭焼名人は焼成中の炭焼窯の煙を横目に見ながら作業をしきっておられました。なお、名人は炭焼の弟子を募集中です。そして々がリーダーの作業は、先月やりかけで気になっている細竹退治で、長刀トキを手に森に繰り出しました。最初は、草原広場の縁にある村人がかつて石を積んで築いた高さ1m程のサハリ(字がわかりません)の周囲で生えている細竹を刈ったのですが、刈る程に生えているのが次々に見つかるのでそれなりの作業量になってしまい、目的地のケキの林になかなか移動できません。後ほどケキの林でキッシーの班と遭遇しましたが、横に細竹があってもタラノギだけを伐っていくので「遊林会のお役所仕事!」とお昼のミーティングのお笑いネタとしてしまいました。

お昼は炊き込み御飯に肉じゃが、ポトフ、お浸し、それに々が大好きな焼き豆腐の煮物などです。被災地の方々の苦勞に思いを巡らしながら、食事をいただけることに感謝しての昼食となりました。この日はもちろん午後もしっかりと作業をしました。

4月27日(水曜日) 週日活动 森の居酒屋は4月6日 午後7時頃～

4月9日(第2土曜日) 9時～(遅刻可)

主 催 者 : 遊 林 会

連絡先(遊林会事務局): 滋賀県 東近江市 河辺いきものの森 Tel 0748-20-5211 Fax 0748-20-5210

URL: <http://www.yurinkai.org/>

E-mail: ikimono@e-omi.ne.jp

森のブログは「かわべえブログ」で検索!

朝方はまだまだ寒い日が続いていた第4水曜日は15人が参加。この日は雪などのためしばらくできなかった萌芽更新作業をすることにしたのですが、3月も末となり、この時期に伐採した切り株から果たしてひこばえが出るのだろうかとの不安もあります。しかし、既に伐採した切り株が日陰にならないためにも、思い切って伐採することにしました。今シーズンの萌芽更新作業で伐採予定の木は残り3本。いずれも枝張りの大きい大木です。この日だけで3本処理できるだろうかと不安でしたが、顔ぶれはいずれもベテラン揃い。チェーンソーを駆使しつつ、予定を上回って午前中に2本処理できました。この日のお昼はのメインは春らしくちらし寿司。大きな寿司桶で鮮やかに彩られたお寿司は、見ているだけでもおいしそう。現にみんなおかわりをするおいしさでした。午後からの作業は残りの1本を伐採し終え、今シーズンの萌芽更新作業を無事に終わることができました。伐採した木はクヌギやコナラなど20本。すべての切り株からひこばえが出るとは思いませんが、1本でも多くのひこばえが出るように願っています。

作業を終えた時、まだ少し時間が残りました。その時間で、13年に及ぶ遊林会の里山保全作業の中でも初めてと言える作業を行いました。それはドングリの木の間引きです。これまでは「木を伐って森を守る」の合い言葉通り、とにかく繁りすぎた常緑樹や竹を切り、切った後に生えてきた先駆種やササを刈り続ける作業が中心でした。その作業によって自然に生えてきた木々のうち残したい樹種を残してきたのです。ところが最近、残してきた木々が競い合いつつ順調に生育してきたため生育密度が高くなり、間引く必要が出てきたのです。今回間引きをした区域は、遊林会が入る前には竹林に侵略されていたドングリなどの落葉広葉樹林でした。河辺いきものの森が整備される際、生えていた竹を伐採し、数十本のドングリの木しか残らなかったところにドングリの幼樹を補植しました。その後2006年に、元からあった高木の萌芽更新を図るためすべての高木を伐採しました。あれから5年、補植した幼樹や萌芽更新によるひこばえが順調に育ち、ここはドングリのジャングル状態でした。つまり、これまでの作業で手間をかけて残してきた樹種ばかりが高密度で生育しているのです。ここに生えている指くらいの細い木も、腕くらいの太い木も、何年もかけてみんなで育ててきた木たちなのです。それを間引くという作業…正直、ノコギリを挽くことにためらいを覚えました。しかし、間引かないと共倒れになってしまいます。「細いもの、虫が入っているものから優先的に切っていくしましょう」ということだけ決めて、みんなで手分けして間引いていきました。しかしこの日はすぐに終了時間が来たので、続きは次の活動日に持ち越しすることに。「木を

伐る」活動に加え、「森を育てる」活動もスタートした、意味ある日となりました。

☆3月の木ままクラブ

気軽に気ままに木曜日に活動する木ままクラブ。3月は2回の活動を行いました。

3/3 9人 萌芽更新作業で発生した丸太を新割り機でひたすら割る作業をしました。

3/17 7人 この時期異例の大雪のため作業を中止する予定が2人お見えになり、春休み子ども向けイベントのお手伝いをさせていただきました。4月は14日、21日が活動日です。

☆河辺いきものの森スタッフルーム情報

この時期恒例の人事異動。森に勤務する市職員は現状のままでした。一方、市の異動命令とは無関係に遊林会スタッフの方は変化があります。今年一年勤務してくれたキッシーこと岸本君が大学院に戻り、代わりに別の大学院を修了した篠原君が新たに加わります。さらに、新しくスタートさせるモリイコ！（緊急雇用創出事業による）で新たに3名のスタッフを迎えます。ただしこれだけの数のスタッフがいるのは1年間だけですが、4月からはインジャーームの人口密度が相当高くなります。ちなみに遊林会の代表であるクマは3月で定年退職しましたが、4月からは市の嘱託職員として引き続き3Fに勤務します。

☆4歳からの森・学・塾「モリイコ！」

上でも触れたモリイコ！という事業は、滋賀県緊急雇用創出事業を利用して4月より遊林会が実施予定の事業です。この事業は低年齢の子どもたちに森の楽しさをたっぷりと体験してもらおうという、全国でもあまり例がない内容になると思います。詳しくは近々ホームページに情報を載せますが、概要は次の通りです。

・4歳から小学校3年生の子どもたちが対象

・毎月1回、1日子どもを森で預かり様々な活動をする中で、森好きの子どもを育てる

この年齢の子どもたちに本格的な活動を展開するのは遊林会にとっては初めてのことです。今この企画や準備がものすごく大変ですが、小さな子どもたちが四季を通じて森で様々な活動をし、成長していく様子を見るのを楽しみにがんばります。

☆4月の作業は…

4月の作業日は地域のお祭りのため毎回人手不足です。特に昼食班はピンチ！それでも新しい春を迎える気持ちのいい森の中、集まったメンバーでできることをしましょう。

容器やコップは数に限りがあります。食器の持参をお願いします！